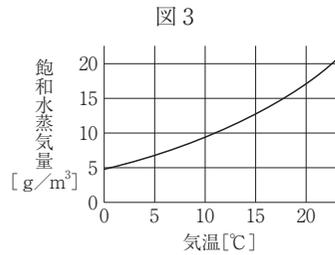
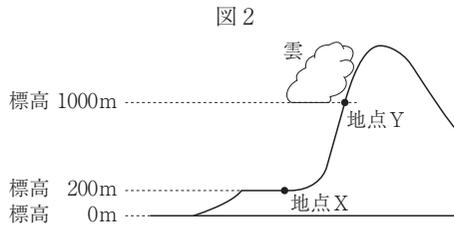


回 次の1~3の問いに答えなさい。

3 図2は、空気のかたまりが標高200mの地点Xから山の斜面に沿って上昇し、標高1000mの地点Yで雲が発生したようすを模式的に表している。地点Yにおける空気のかたまりの温度は10℃であり、図3は気温と飽和水蒸気量の関係を示したグラフである。空気のかたまりの温度は、雲が発生していない状況では、標高が100m高くなるごとに1℃変化するものとする、この空気のかたまりが地点Xにあったときの湿度はおよそ何%であったと考えられるか、あとのア~エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。ただし、空気のかたまりが、山の斜面に沿って上昇しても下降しても、 1 m^3 あたりにふくまれる水蒸気量は変わらないものとする。



ア 20% イ 40% ウ 60% エ 80%

【答】 3. ウ